

新たなまちづくり体制の検討について

令和3年6月

1 地域委員会の見直しの背景

- ・地域委員会の設置から15年以上が経過
- ・人口減少や過疎高齢化により地域の担い手が不足
- ・一方でコミュニティ推進組織、区長会、NPOの誕生、さらには若い世代の活動が芽生えるなど、全地域一律ではなく、各地域の実態に即したまちづくり体制が求められてきた。
- ・そこで、前期の地域委員会では、コミュニティ推進組織に関する勉強会や、新たなまちづくり体制の検討について議論を重ねた。

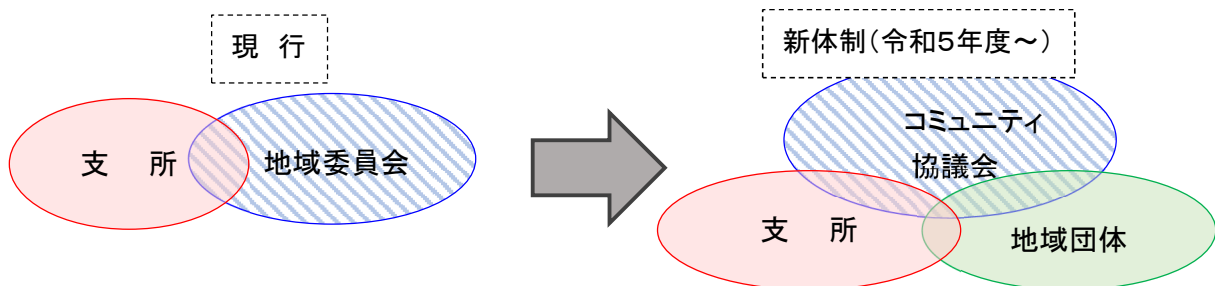
2 地域委員会での主な意見

- ・テーマや課題に応じ、若い世代も含めた幅広い年代の声を吸い上げる仕組みが必要
- ・地域の課題を共有し、検討できる場や機会が必要
- ・コミュニティ推進組織や地域の団体が連携し、新たな街づくり体制が担えるとよい。
- ・コミュニティセンターを人が集い地域の声が聴ける場所にしていきたい。

3 新たなまちづくり体制の方向性

(1) 方針

令和3、4年度は地域委員会を継続。令和5年度からはコミュニティ協議会を地域づくりの核組織としたい。



(2) 今後の取り組み

地域の課題解決や活性化に取り組むための体制づくりを、コミュニティ協議会や地域委員会で検討

4 検討の流れ(案)

(1) 令和3年6月 第1回地域委員会分科会でこれまでの経緯や今後の取り組みについて説明

(2) 令和3年6月～令和4年8月

- ・とちおコミュニティ協議会
 - どのような体制がよいか検討(部会、運営委員会の強化、予算など)
- ・地域委員会
 - 必要に応じてコミュニティ協議会と共に検討